

令和3年度

札幌市西区生活支援体制整備事業
活動報告



札幌市 生活支援コーディネーター
イメージキャラクター「さぼっちー」



社会福祉法人
札幌市西区社会福祉協議会

令和3年度 札幌市西区生活支援体制整備事業活動報告

【生活支援体制整備事業】

～第1層の取組～

○西区生活応援ボランティアグループの活動

令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、毎月開催していた西区生活応援ボランティアグループの活動が行えませんでした。

令和4年度は、新規活動者の養成を含め、活動を再開し生活支援ボランティアの推進を進めてまいります。

○西区生活支援ボランティア養成

令和元年度については、地域包括支援センターごとに3回の養成講座を開催しましたが、令和2年度、令和3年度については、区域での開催となりました。

今年度は、令和3年12月14日にボランティア入門研修し、その中で「身近な地域で広げる支え合い活動」として、各種ボランティア活動に加え、生活支援体制整備事業の活動及び西区生活応援ボランティアグループについて説明しました。

令和4年度については、各エリアで養成講座を開催し、生活応援ボランティアグループへの参加を推進してまいります。



○西区生活支援体制整備事業第1層協議体

令和3年度は、集合型での開催の実施はなく、本報告を行うのみとなりました。令和4年度は、集合型等で協議体を実施し、各団体との情報共有及び連携強化に努めてまいります。

○第2層生活支援推進員との連携

第1層生活支援コーディネーターと第2層生活支援推進員については、基本的には、毎月「西区コーディネーター連絡会」を開催し、事業進捗状況の確認や今後の取組方針についての確認を実施いたしました。また、必要の都度連携を図り、活動を進めました。

～第2層の取組～

① 西区生活支援体制整備事業広報誌「つなぐう」の作成

西区での本事業の取り組みをまとめた広報誌「つなぐう」を作成しました。おおよそ季節ごとに発行し、令和3年度は4回発行しました。



② 西区第1包括エリア

(八軒地区、琴似二十四軒地区、山の手地区、八軒中央地区)

○八軒地区での取組

令和3年10月より「まわし読み新聞」の取組を開始しました。

この取組は「気になる!」「面白い!」という記事を持ち寄り、記事を要約し発表します。そして、なぜ選んだかをグループで語り、意見交換を行います。最後に、それぞれの記事を張り合わせ一枚の用紙にまとめ、グループごとに発表を行います。

この取組は、地域の新聞販売店や八軒地区福祉のまち推進センター(以下八軒福まち)と協力しながら、第2層生活支援推進員が中心となり進めまし

た。令和4年度からは八軒福まちの主催事業として継続実施されることとなっており、取り組みが長く続くよう支援してまいります。



○山の手地区での取組

令和3年度は三角山の麓の単位町内会を対象に、地域の方々から地域の現状や特徴、課題などの意見を聞く協議体を開催しました。

協議体では、地域特性として坂道が多いことから買い物支援の必要や、除雪車が入ることができない道路の除雪について課題として挙げられたほか、地域資源についても意見が出されました。

その中で、山の手高校ラグビー部の寮が対象町内会にあるため、除雪ボランティアをお願いできないかということとなり、山の手高校ラグビー部と町内会の調整を行い、山の手高校ラグビー部及び野球部の協力のもと令和4年2月5日に、ボランティア除雪を実施しました。

また、買い物支援については移動スーパーの誘致を検討しております。



③ 西区第2包括エリア（西町地区、西野地区）

○西町地区宮の沢町内会での取組

西町地区の宮の沢町内会にて、令和3年8月5日と令和3年11月30日の2回にわたり、協議体を開催しました。

令和2年度から課題として挙がっていた買い物支援について、宮の沢町内会の中で2カ所実施しており、買い物支援だけでなく地域のつながりの場として活用されております。

また、今後地域内での助け合い活動を促進していくための取組について意見が出され、今後は助け合いのグループ結成に向け話し合いを進めていくこととなっています。

○西野地区福井での取組

西野地区福井にて、「生活支援情報 MAP～お買い物編～」を作成しました。この地区では移動スーパーが巡回しており、その販売場所等について記載しております。

今後、西野地区内の西野、昭和についてもマップを作成予定です。



④ 西区第3包括エリア（発寒北地区、発寒地区）

○発寒北地区発寒団地町内会での取組

発寒団地町内会では近隣の商店が閉店したことで、買い物に困る方もいるとの声が聞かれました。そこで、買い物支援をテーマとした協議体を開

催し、町内会の役員の方々を中心に、移動スーパーの誘致等についてご意見をお聞きしました。

公営団地への移動スーパーの誘致に際して、単純な営利活動では導入は難しいため、地域の交流の場、支え合い活動の場として活用できるかがポイントとなりました。

2回の話し合いの結果、発寒団地町内会役員が中心となり、主に高齢者の買い物の荷物運び等の支援を行うこと、買い物の場を見守り活動及び交流の場とすることとし、移動スーパーを誘致しました。

今後は、移動スーパーでの買い物の場で健康体操を行うなど、さらに活動を広げていければと考えております。



○発寒地区での取組

令和3年度の発寒地区での取組として、地区内で比較的傾聴ボランティアの依頼が多いことから、ボランティア養成の取組を行っていくこととしました。

介護予防センターと協力し、介護予防センター主催の運動教室参加者へ、ボランティア活動に興味があるか、アンケート調査を行うなど、ボランティア養成に向け取り組みを進めました。

アンケート結果をもとにボランティア養成講座の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響で令和3年度内に講座の開催ができなかったため、令和4年度に養成講座を実施し、傾聴ボランティアを含めた助け合い活動を行うグループの立ち上げに向け、支援を行っていきます。

札幌市 生活支援コーディネーター イメージキャラクター誕生！！



名前：さぼっちー

◆ 由来：「サポート」+「はち」

◆ 説明：

「地域の支え合い」をサポートするために活動するミツバチ。

地域の皆さんがもっと暮らしやすくなるよう、みんなの想いを集めて運びます。

胸元のハートは、みんなの想いを察知した時に光るハートペンダントをイメージ。

触覚は Support(サポート)の「S」の表しています。

◆ キャッチコピー：みんなの想いを繋ぐよ

各生活支援コーディネーターは、皆さんの地域の「さぼっちー」として、日常のちょっとした困り事や、地域のお宝情報(地域の資源)を探しています。

ご自身の事はもちろん、身の回りのちょっと気になる方のお話についても、気軽にコーディネーターまでご連絡ください。